

三菱 **業務用** ロスナイ

## 〈天井埋込形加湿付スタンダードタイプ マイコンタイプ(フリープラン対応形)〉

### 取扱説明書

お客様用

#### 形名

##### スタンダードタイプ

〈単相100V〉

LGH-N15RKS

LGH-N25RKS

LGH-N35RKS

LGH-N50RKS

LGH-N65RKS

LGH-N80RKS

LGH-N100RKS-50 (50Hz専用)

LGH-N100RKS-60 (60Hz専用)

〈単相200V〉

LGH-N15RKSD

LGH-N25RKSD

LGH-N35RKSD

LGH-N50RKSD

LGH-N65RKSD

LGH-N80RKSD

LGH-N100RKSD-50 (50Hz専用)

LGH-N100RKSD-60 (60Hz専用)

##### マイコンタイプ(フリープラン対応形)

〈単相100V〉

LGH-N15RKX

LGH-N25RKX

LGH-N35RKX

LGH-N50RKX

LGH-N65RKX

LGH-N80RKX

LGH-N100RKX-50 (50Hz専用)

LGH-N100RKX-60 (60Hz専用)

〈単相200V〉

LGH-N15RKXD

LGH-N25RKXD

LGH-N35RKXD

LGH-N50RKXD

LGH-N65RKXD

LGH-N80RKXD

LGH-N100RKXD-50 (50Hz専用)

LGH-N100RKXD-60 (60Hz専用)

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、  
またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan  
only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

ご使用の前に「安全のために必ず守ること」  
をよくお読みになり、正しく安全にお使い  
ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも  
見られるところに、「三菱電機 ご相談窓口・修理  
窓口のご案内(冷熱品)」とともに大切に保管し  
てください。

お客様ご自身では据付けないでください。  
(安全や機能の確保ができません)

#### もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	2
特長	2~3
各部のなまえとはたらき	3
使いかた	4~7
お手入れ	8~9
保守点検	9~11
「故障かな?」と思ったら	11
アフターサービス	裏表紙
仕様	裏表紙

# 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	可燃性ガスが漏れた場合はコントロールスイッチ・リモコンを入・切しない 電気接点の火花により爆発の原因になります 窓を開けて換気する	 禁止	ロスナイの風が直接あたるところに燃焼機器を置かない 不完全燃焼による事故の原因になることがあります
	改造や必要以上の分解をしない 火災・感電・けが・水漏れの原因になります		冬期、室内を暖房しているとき、「普通換気」で運転しない 本体から結露水が天井面に滴下して、天井面を汚すおそれがあります
	製品を水につけたり、水をかけたりしない 火災や感電の原因になります		高温（40℃以上）や直接炎が当たったり、油煙の多い場所には使用しない 火災のおそれがあります
	濡れた手で操作しない 感電の原因になります		機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には使用しない 故障の原因になります
	定格電圧、制御容量範囲で使用する 間違った電圧で使用すると火災や感電の原因になります お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 通電状態では感電やけがをすることがあります		お手入れ後の部品の取付けは確実に 落下によりけがをすることがあります
 指示に従う	異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」に相談する 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります	 指示に従う	お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります
	凍結のおそれのある地域では、給水配管に必ず凍結防止工事を行う 電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります		長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

## 特長

最近の建物は気密性が高く、冷暖房効果・しゃ音効果が高いという特長があります。その反面、換気不足による室内空気の汚染・結露の発生などで健康を害したり、壁・天井の汚れのもとになるカビ・ダニの発生につながります。

そこでロスナイによる換気が必要になります。

ロスナイは……室外の空気を室内の温・湿度に近づけながら室内に給気するとともに、汚れた空気を室外に排気します。

### 主な特長

- 1 新鮮空気**

強制同時給排なので  
強制同時給排機能によってきれいな外気を取入れながら汚れた空気を排気します。だから室内の空気は新鮮です。
- 2 快適温度**

ロスナイエレメントの働きで  
ロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。
- 3 省エネ**

熱ロスが少ないから  
室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。
- 4 防音効果**

特殊構造により  
室外騒音の侵入を防ぎ、室内音の音もれを抑えます。
- 5 快適な加湿**

透湿膜式加湿エレメントによる  
透湿膜式加湿エレメントを採用。水と空気が触れないため、快適な加湿空気として室内に供給されます。
- 6 マルチ換気モード**

給排気バランスが選択できる  
使用環境や設置場所に合わせて、給排気のバランスが変えられるので最適な換気ができます。（マイコンタイプのみ）

## スタンダードタイプとマイコンタイプ（フリープラン対応形）の違い

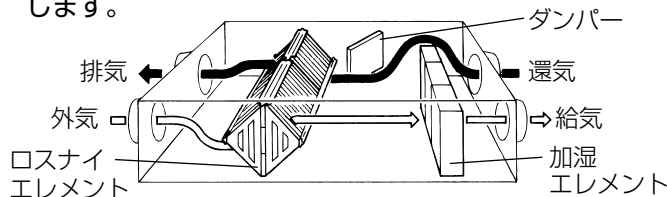
**スタンダードタイプ** ……システム部材のコントロールスイッチで「入」・「切」、「強」・「弱」、「ロスナイ換気(熱交換あり)」・「普通換気(熱交換なし)」および「加湿入」・「加湿切」を手動で切り換えます。

**マイコンタイプ（フリープラン対応形）** ……システム部材のデラックスリモコン・リモコンスイッチ・ロスナイリモコンで、スタンダードタイプと同様に手動運転ができるほか、「ロスナイ換気(熱交換あり)」と「普通換気(熱交換なし)」を自動で切り換えます。また外部機器と連動運転が可能で外部機器の運転・停止に合わせてロスナイも運転・停止を行います。デラックスリモコンと組合わせた場合は、微弱運転、24時間換気設定、ウィークリータイマー、ナイトパーズ等の省エネ機能が使用できます。

## 「ロスナイ換気」と「普通換気」とは

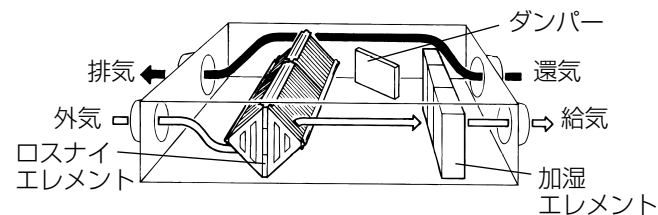
### ●「ロスナイ換気」とは……

室内空気をロスナイエレメントを通して室外に排気します。熱交換された外気が室内に供給されます。冷暖房をしている夏・冬には「ロスナイ換気」で運転します。



### ●「普通換気」とは……

室内の汚れた空気をロスナイエレメントを通さずそのまま排気します。熱交換を必要としない春・秋には「普通換気」で運転します。



## マルチ換気モードとは（マイコンタイプのみ）

使用環境や設置場所に合わせて給排気バランスを選択できる機能です。（換気モードは施工時に設定されています。）

換気モード	給気風量	排気風量	使用用途
パワー給排気	強	強	●オフィス内の混雑時 在室人数に応じた効率的な換気ができ、最適換気量を確保できます。
パワー給気	強	弱	●オフィス外からのちり、ほこりを防ぎたいとき 給気量が排気量に対し多いためオフィス内を正圧に保ち、ちり、ほこりの侵入を防ぎます。 ●給気不足のとき トイレや給湯室に設置されている換気扇からの排気過多に伴う慢性的な給気不足を補います。
パワー排気	弱	強	●喫煙コーナーなど臭いや煙を素早く排気したいとき 排気量が給気量に対し多いためコーナーを負圧に保ち、臭いや煙を拡散せず効率的に排気できます。
省エネ換気	弱	弱	●オフィス内が混み合っていないとき 人数が少ない残業時間や休日は給気量と排気量を「弱」にし、換気によるロスを最小限に抑え、省エネ換気を実現します。

※「強ノッチ」は更に本体ディスプレイスイッチまたはデラックスリモコンで「特強」に設定することもできます。（LGH-N15、N25Rには「特強」はありません）

※本体ディスプレイスイッチを両方も弱に設定すると、リモコンの強／弱によらず省エネ換気固定となります。

※スタンダードタイプにはマルチ換気モード機能はありませんが、本体切換スイッチで「強」ノッチを「特強」ノッチに設定することができます。（LGH-N15、N25Rには「特強」はありません）

## 各部のなまえとはたらき

※図はLGH-N50タイプを示す

**ロスナイエレメント**  
給気と排気の間で温度・湿度を交換する

**メンテナンスカバー（ロスナイエレメント用）**

天吊金具

**給水チューブ**  
透湿膜式加湿エレメントに給水する（10ページ参照）

**排気用送風機**  
汚れた空気を室外に排気するための送風機

給水口（ストレーナ付）

コントロールボックス

メンテナンスカバー（加湿用）

**透湿膜式加湿エレメント**  
熱交換後の給気空気に快適な加湿を行う

**電磁弁**

透湿膜式加湿エレメントの給水制御を行う（10ページ参照）

**ダクト接続フランジ**

**給気用送風機**  
外気を室内へ吸込むための送風機

**ロスナイエレメントホルダー**  
ロスナイエレメントのガイド用レール

**エアフィルター**  
ロスナイエレメントの目詰まりを防止する

**ダンパー板**  
ロスナイ換気と普通換気を切り換える

排水弁 ドレン排出口 サービス弁

# 使いかた

この製品はスタンダードタイプとマイコンタイプ(フリープラン対応形)で使いかたが異なります。

- 暖房時、製品本体の結露防止のため必ず「ロスナイ換気」で運転してください。なお、マイコンタイプ(フリープラン対応形)は外気が8℃以下で自動的に「ロスナイ換気」となります。
- 冬期(加湿時期)に、凍結するおそれのある地域では必ず凍結防止用のヒーター(お客様手配)の電源を入れてください。

## スタンダードタイプ

- 製品を長期間運転しないときは、加湿エレメント内の水を蒸発させるため、加湿運転を停止し、換気のみで累計24時間以上運転してください。運転しないと残留水が腐敗し異臭を生じることがあります。なお、異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要となります。

## マイコンタイプ

- 高湿度外気浸入防止機能  
外気が製品の使用範囲を超える湿度になった場合、機外に水漏れをおこさない範囲で換気を可能なかぎり継続できるように自動で間欠運転をします。
- 自動排水機能  
加湿エレメント寿命向上のため、10時間連続して加湿運転を行った場合、30分間加湿器を停止し、加湿エレメント内の水を強制排水させます。
- 自動乾燥機能  
加湿エレメント内の水腐敗による異臭を防止するため加湿運転停止後、64時間運転されなかった場合、10時間自動送風運転し、加湿エレメントを乾燥させます。(換気モードは「ロスナイ換気」、風量は給排気とも「弱」ノッチ、加湿は「OFF」で自動運転されます)
- 加湿電磁弁凍結防止機能  
電磁弁の凍結を防止するために加湿付ロスナイが停止後(45分経過)、OAサーミスタ検出温度が-3℃未満の場合に排気ファンを間欠運転させ、室内側の熱によって電磁弁の凍結を防止します。

## メモ

- スタンダードタイプ、マイコンタイプ(フリープラン対応形)とも、加湿運転中に製品運転停止または加湿のみ停止した場合、加湿エレメント内の水がドレン排出口より排水されます。

## お願い

- 加湿シーズン終了後や加湿シーズン中においても長期間(2~3週間以上)加湿機能を運転しない場合は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、排水弁を用いて給水配管内の水抜きを実施した上で、加湿「切」、「ロスナイ換気」、「強」ノッチ運転で累計24時間以上送風機を運転し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。
  - 乾燥運転を行わないと残留水が腐敗し異臭が発生する場合があります。なお、異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。
  - 給水バルブまたはサービス弁を閉止しないと、凍結・ウォーターハンマー等の影響により電磁弁・ストレーナが破損し水漏れの原因となります。
- 加湿シーズン中に連続運転する場合は、加湿エレメント寿命改善のため、1日30分以上は加湿運転を停止してください。
- 製品を運転しない場合には、凍結防止のため水抜きの実施またはヒーターの電源を入れる等の処置をしてください。(製品外部の排水弁を用いて、製品内の水抜きを実施してください)

## スタンダードタイプ

- スタンダードタイプを使用した場合、使用できない機能があります。(週間タイマー、微弱運転、省エネ表示、ナイトパーシ、24時間換気設定等)

システム部材のコントロールスイッチで運転・停止・風量切換・機能切換・加湿「入」、「切」を行います。コントロールスイッチは製品に合わせて単相100V用と単相200V用がありますが、使いかたは同じです。

- コントロールスイッチの据付工事・取扱説明書も併せてご覧ください。

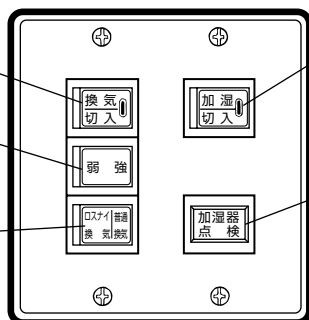
システム部材 コントロールスイッチ  
(PZ-N05SKまたはPZ-N05SK-D)

### 電源スイッチ

(電源ランプ付) : 「入」・「切」を行います。

風量切換スイッチ : 「強」・「弱」を切り換えます。

機能切換スイッチ : 「ロスナイ換気」と「普通換気」を切り換えます。



### 加湿スイッチ

(加湿運転ランプ付) : 加湿「入」・「切」を行います。

### 加湿器点検表示ランプ

加湿器に故障・異常が生じたときに点灯する。点灯した場合、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

## メモ

- 「普通換気」から「ロスナイ換気」に切り換えたり、「普通換気」の状態でも電源スイッチを「切」にすると、ダンパーが閉まる音がしますが異常ではありません。
- 複数台運転中に加湿器点検表示ランプが点灯した場合には全ロスナイの加湿器を点検する必要があります。

# マイコンタイプ (フリープラン対応形)

●微弱運転はマイコンタイプでデラックスリモコン (PGL-60DR) を併用した場合に設定が可能です。

## 1 デラックスリモコン(PGL-60DR)を使用する場合

空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

●デラックスリモコンの据付工事・取扱説明書もあわせてご覧ください。

〈外部機器と連動しない場合〉 (PZ-N43SMF、PZ-N52SFとの併用はできません)

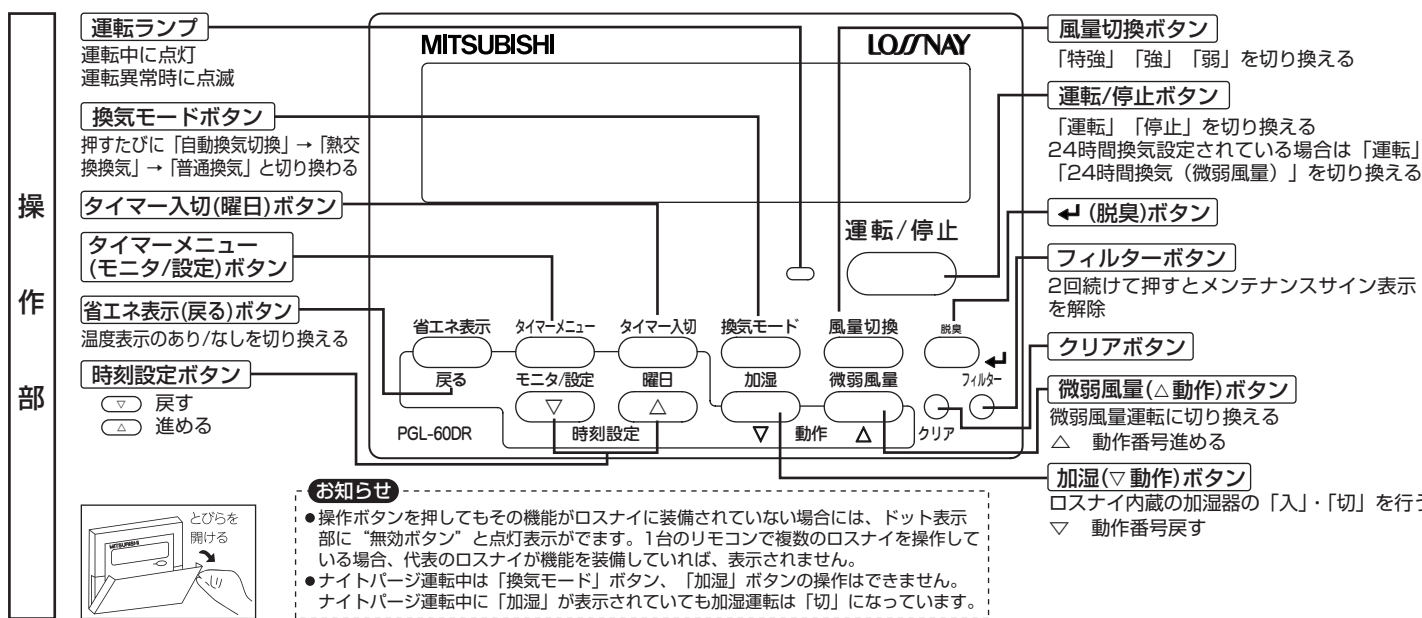
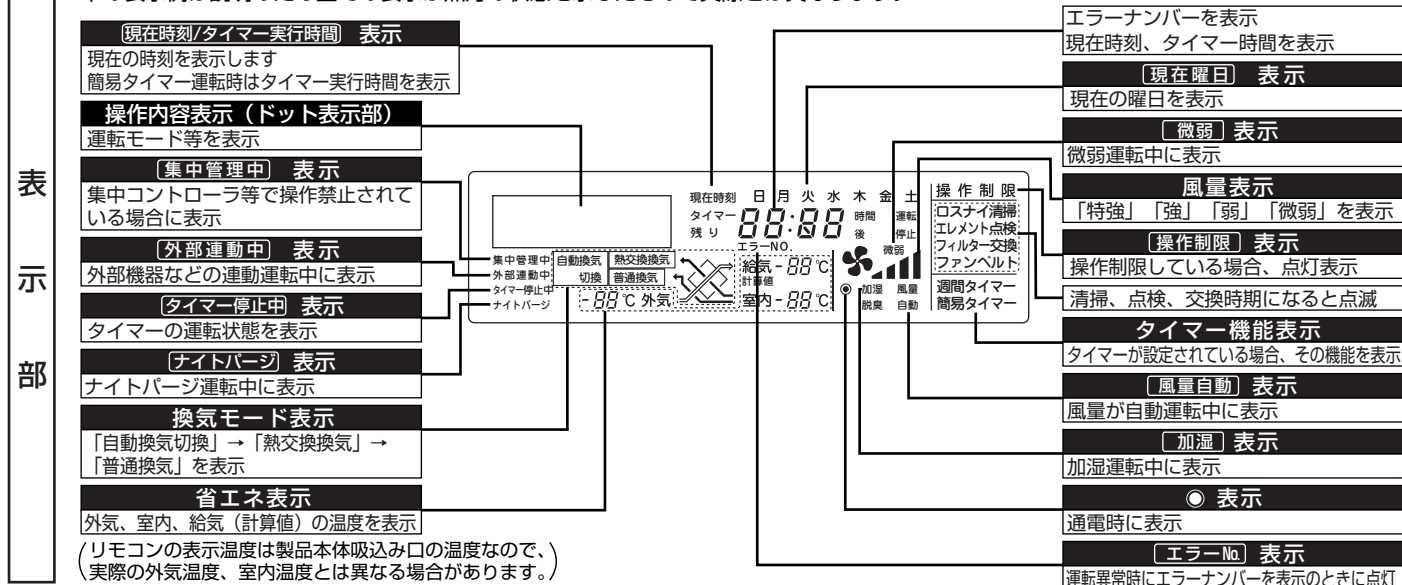
システム例	操作	機能説明
	デラックスリモコンで運転させます。	●2リモコン運転の場合、後押優先となります。

〈外部機器と連動する場合〉 (PZ-N43SMF、PZ-N52SFとの併用はできません)

	外部機器用操作スイッチで「運転」または「停止」させますと自動的にロスナイも「運転」または「停止」します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部機器用操作スイッチとデラックスリモコンは後押優先です。</li> <li>●外部機器停止中にロスナイのみ運転したい場合はデラックスリモコンで運転させます。</li> <li>●風量は「強」、換気モードは「換気モード自動切換」になります。</li> </ul>

下の表示例は説明のため全ての表示が点灯の状態を示したもので実際とは異なります。

※本製品に脱臭機能はありません。



## 2 ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)を使用する場合

空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

- ロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、ロスナイコンパクトリモコンの据付工事・取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ロスナイコンパクトリモコン（PZ-N43SMF等）を使用した場合、使用できない機能があります。（ウィークリタイマー、微弱運転、省エネ表示、ナイトパージ、24時間換気設定等）

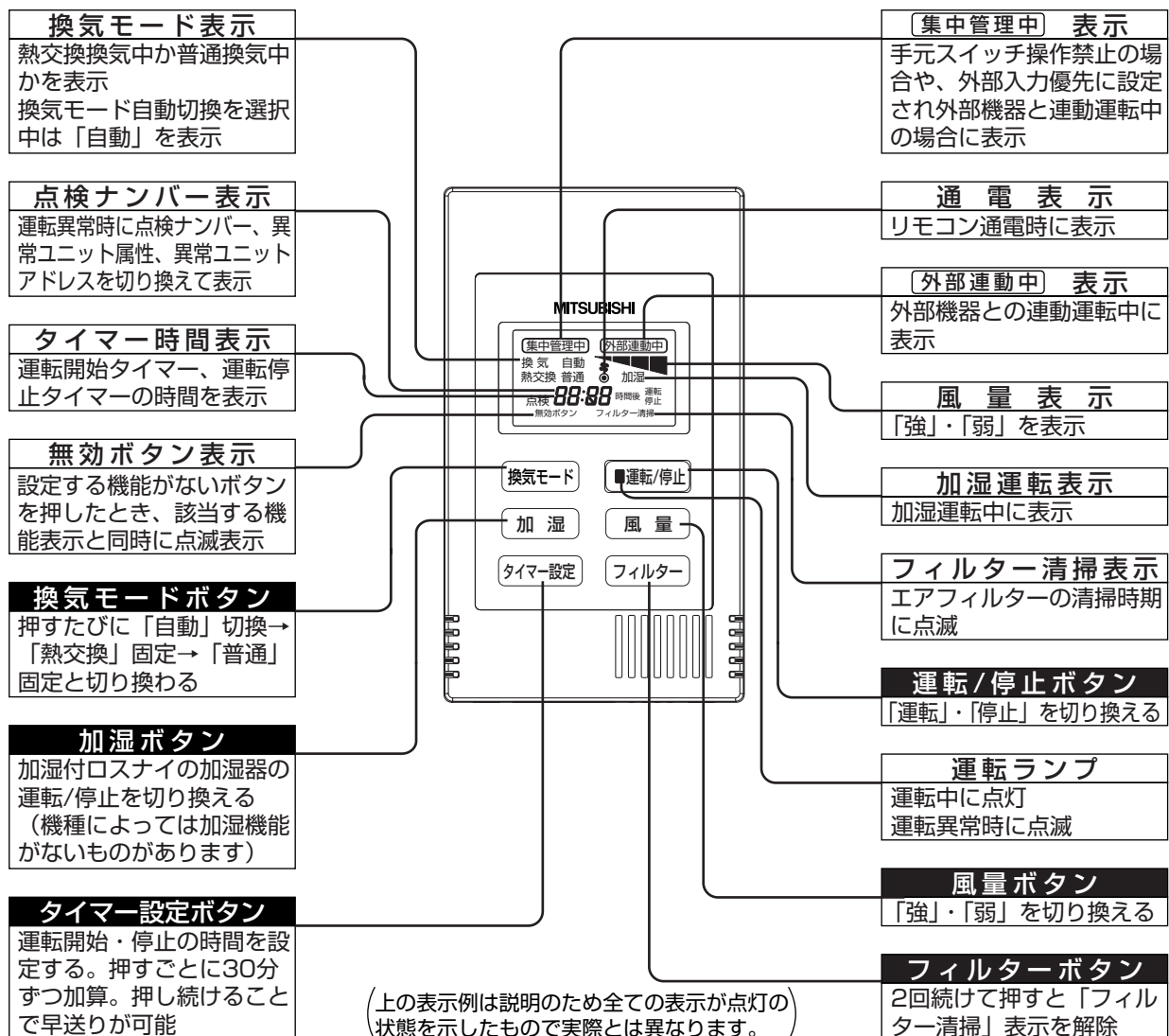
### ＜外部機器と連動しない場合＞（PGL-60DR、PZ-N52SFとの併用はできません）

システム例	操作	機能説明
	ロスナイコンパクトリモコンで運転させます。	●2リモコン運転の場合、後押優先となります。

### ＜外部機器と連動する場合＞（PGL-60DR、PZ-N52SFとの併用はできません）

	外部機器用操作スイッチで「運転」または「停止」させますと自動的にロスナイも「運転」または「停止」します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部機器用操作スイッチとロスナイコンパクトリモコンは後押優先です。</li> <li>●外部機器停止中にロスナイのみ運転したい場合はロスナイコンパクトリモコンで運転させます。</li> <li>●風量は「強」、換気モードは「換気モード自動切換」になります。</li> </ul>

### ＜ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)の各部のなまえとはたらき＞



### 3

## 三菱マルチエアコン、デラックスリモコン(PGL-60DR)、ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)ロスナイリモコン(PZ-N52SF等)または、三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続されている場合

三菱電機フリープランシステムに組み込まれて使用するものです。  
 運転については、空調機に連動して空調機の操作により行います。システム部材のデラックスリモコン、ロスナイコンパクトリモコンまたはロスナイリモコン（フリープラン用）を使用すれば空調機連動運転と別にロスナイ単独運転ができます。詳しくはシステム部材に同梱の取扱説明書を参照してください。

空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

- デラックスリモコン、ロスナイコンパクトリモコンまたはロスナイリモコンをご使用の場合は、該当の据付工事・取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ロスナイコンパクトリモコンまたは、ロスナイリモコン（PZ-N52SF等）を使用した場合、使用できない機能があります。（ウィークリータイマー、微弱運転、省エネ表示、ナイトパーシ、24時間換気設定等）
- ON/OFFリモコン（PAC-YT40ANR-W）、システムリモコン（PAC-SF44SR-W）、スケジュールタイマー（PAC-YT34ST-W）の緊急停止信号は使用できません。

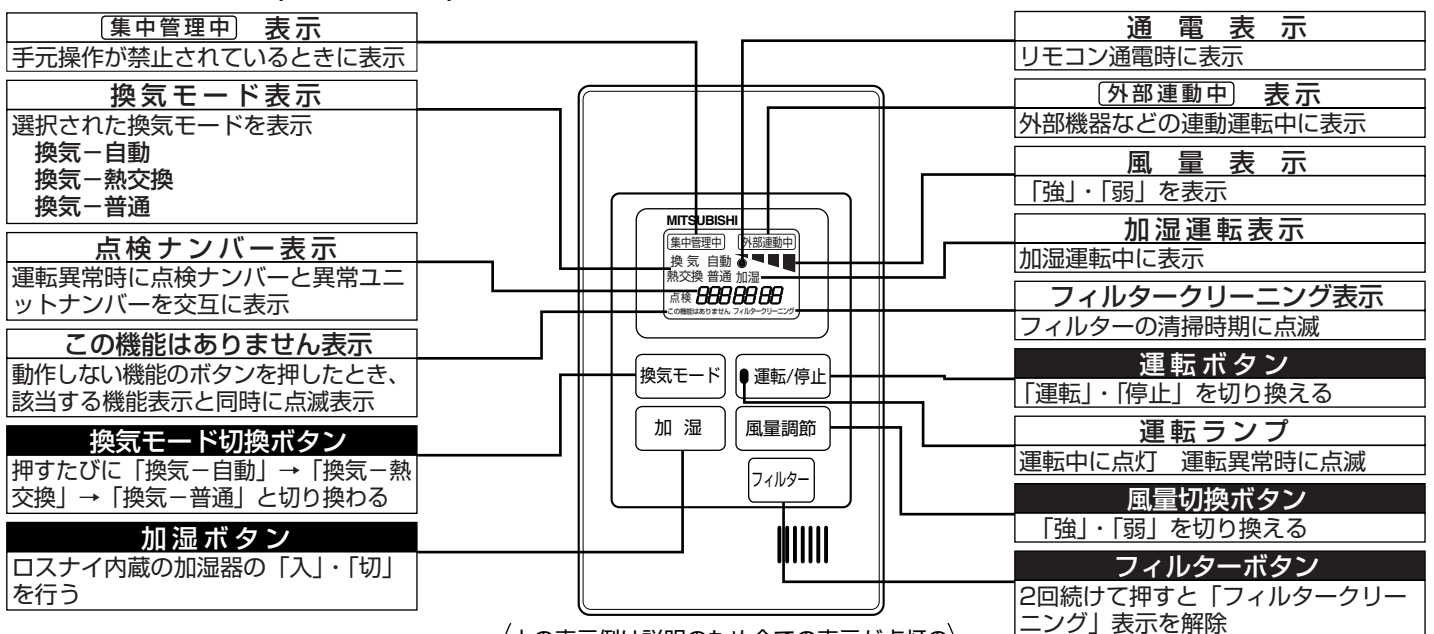
### 〈空調機または外部機器と連動しない場合〉（PZ-N43SMFまたはPZ-N52SFとPGL-60DRは併用できません）

システム例	操作	機能説明
<p>マイコンタイプ ロスナイ</p> <p>デラックスリモコン、 ロスナイコンパクトリモコン またはロスナイリモコン (システム部材)</p> <p>電源</p>	デラックスリモコン、ロスナイコンパクトリモコンまたはロスナイリモコンで運転させます。	●2リモコン運転の場合、後押優先となります。

### 〈三菱フリープラン空調機と連動する場合〉（PZ-N43SMFまたはPZ-N52SFとPGL-60DRは併用はできません）

<p>マイコンタイプ ロスナイ</p> <p>マルチエアコン用 リモコン</p> <p>電源</p>	空調機用リモコンで空調機を「運転」または「停止」させますと自動的にロスナイも「運転」または「停止」します。	●空調機用リモコンでロスナイ単独の運転/停止、風量の強/弱切り換えが行えます。(MAリモコンまたはネットワークリモコン使用時) ●換気モードは「換気モード自動切換」になります。
--	---	---

### 〈ロスナイリモコン(PZ-N52SF)の各部のなまえとはたらき〉



(上の表示例は説明のため全ての表示が点灯の状態を示したもので実際とは異なります。)

# お手入れ

ロスナイの機能低下を防ぐため、エアフィルター・ロスナイエレメントに付着したごみ・ほこりを定期的に清掃してください。

製品内にもごみ・ほこりがたまっている場合は、製品内も清掃してください。

また、霧や高湿度な外気を吸い込むことにより、製品内部に水が付着していることがありますが、異常ではありません。ウエス等で拭き取ってください。

- 目安** エアフィルター……………1年に1回以上 (または、デラックスリモコンの「フィルター清掃」、リモコンスイッチ・ロスナイリモコンの「フィルタークリーニング」表示が点滅したとき)
- ロスナイエレメント…2年に1回(できるだけ1年に1回)以上 (またはデラックスリモコンの「ロスナイエレメント清掃」表示点滅したとき)  
(汚れの程度に応じて清掃回数は増やしてください)

## 警告

- お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態では感電やけがをすることがあります)

## 注意

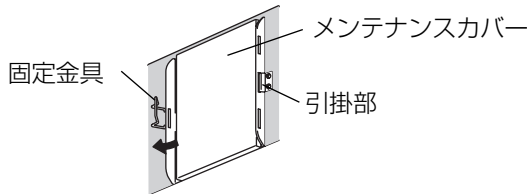
- お手入れの際は手袋を着用する (着用しないとけがの原因になります)
- お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う (落下によりけがをすることがあります)

■ロスナイエレメント、エアフィルターの数は機種により異なります。下表をご覧ください。

機種	ロスナイエレメント	エアフィルター
LGH-N15Rタイプ	1個	2枚
LGH-N25R~N100Rタイプ	2個	4枚

## 各部品のはずしかた

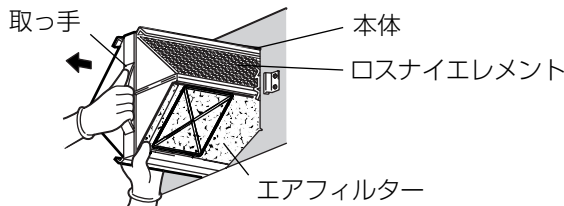
1



### 1.メンテナンスカバーをはずす

点検口から天井裏に入り、固定金具をはずしてメンテナンスカバーを開いて引掛部から取りはずす。

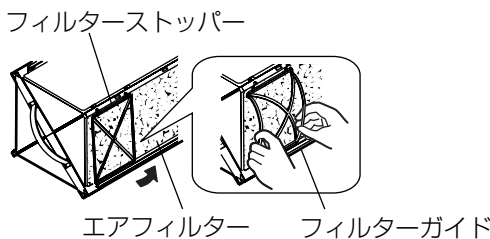
2



### 2.ロスナイエレメントを引き出す

取っ手を持ち、フィルターが付いたままロスナイエレメントを本体から引き出す。

3



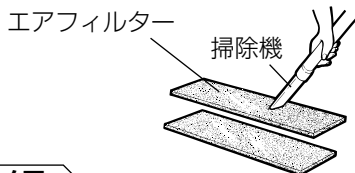
### 3.エアフィルターをはずす

フィルターストッパーをフィルターガイドからはずし、エアフィルターをはずす。

#### お願い

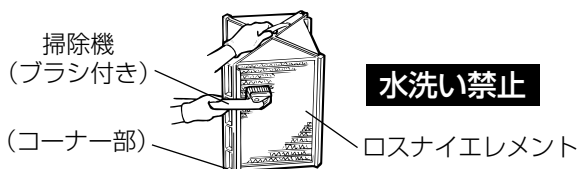
- フィルターストッパーは、左図のように少しならせるとフィルターガイドからはずれます。フィルターストッパーが破損しないように取りはずしてください。

## 各部品の清掃のしかた



#### メモ

- 交換用のエアフィルターがシステム部材として用意されていますので古くなったエアフィルターは交換してください。



### 1.エアフィルターの清掃

掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

#### お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
- 直接火にあてて乾かすことはしないでください。

### 2.ロスナイエレメントの清掃

掃除機でロスナイエレメントの表面のごみ・ほこりを吸い取る。  
●掃除機のノズルは、ブラシ付のものを使用し、ブラシを軽く当てて清掃する。

#### お願い

- 掃除機のかたいノズルを当てないでください。(ロスナイエレメントの表面が傷付きます)
- ロスナイエレメントは、絶対に水洗いしないでください。



## お手入れ後の組立てと確認

……取りはずしと逆の順序で取付ける。

### 1. エアフィルターの取付け

エアフィルターをロスナイエレメントのフィルターガイドに合わせ取付け、フィルターストッパーで固定します。

#### お願い

- エアフィルターを取付けるときロスナイエレメントの表面を傷つけないようにしてください。
- エアフィルターは、フィルターストッパーで確実に固定してください。
- フィルターストッパーは、左図のように少ししならせてフィルターガイドに引掛け固定してください。
- エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。ロスナイエレメントにごみが詰まり、風量低下の原因になります。

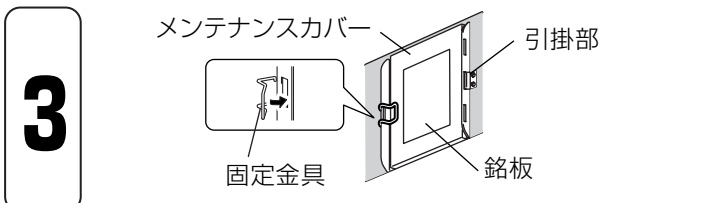
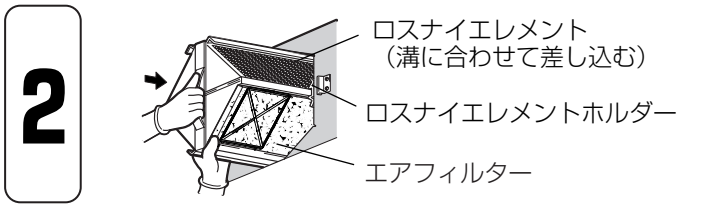
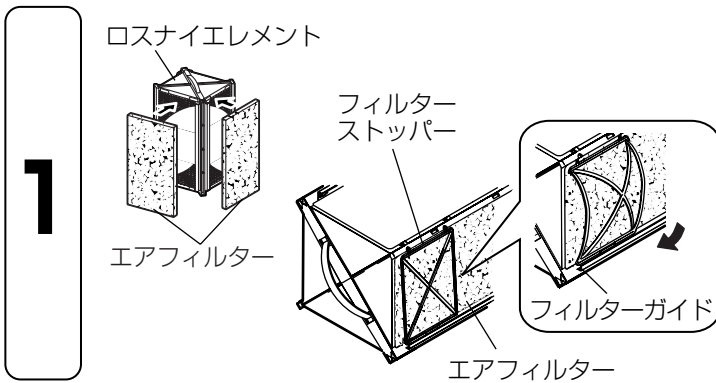
### 2. ロスナイエレメントの取付け

ロスナイエレメントのコーナー部（4か所）をロスナイエレメントホルダーに確実に差し込み、本体内に納める。

### 3. メンテナンスカバーの取付け

引掛部にメンテナンスカバーの穴を引掛け、固定金具をかけて固定する。（銘板が読める方向に取付ける）

リモコンを使用の場合は、フィルター（リセット）ボタンを2回続けて押して、リモコンの表示をリセットします



## 保守点検【工事店様用】

長い間ご使用いただくため、1年に1回を目安に下記の点検を専門の工事店にご依頼ください。

■保守点検の際は、必ず分電盤のブレーカを切ってください。

■加湿部の清掃時は、洗浄剤などを使用しないでください。

点検部品	保守点検内容		保守を怠った場合
	点検項目	処置方法	
ストレーナ	ごみによる目づまりの点検	目づまりが生じている場合は洗浄	加湿不能
	Oリング亀裂の点検	亀裂が生じている場合は交換 ※注1	水漏れ
加湿エレメント	加湿エレメント表面からの漏水点検	加湿エレメント表面から水があふれ出す場合は交換 ※注2	水漏れ
	加湿エレメント表面のごみ・ほこり点検	ほこりで風路がふさがれている場合は掃除機にて傷つけないよう清掃または11ページを参照し水洗いする	風量低下 加湿能力低下
ドレン皿	ドレン皿表面のごみ・ほこり点検	付着している場合はふき掃除を行う	風量低下、ごみ・ほこりの異物室内落下

※注1……交換用Oリング：市販品 P22A、P20

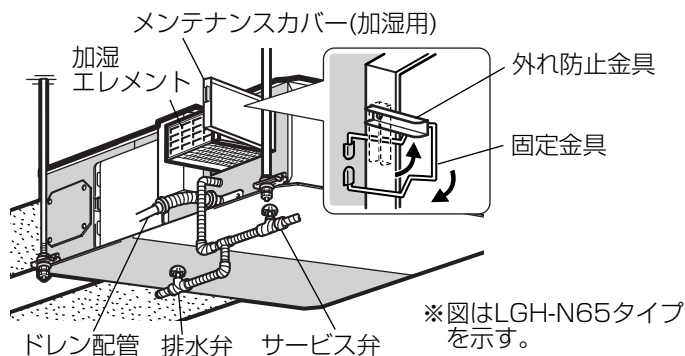
※注2……結露等により少量の水がでる場合がありますが異常ではありません。

### ドレン皿・加湿エレメントの清掃時の注意事項

- シンナー・ベンジンなどの溶剤や、酸性またはアルカリ性の洗剤、ナイロンたわしなどは使用しないでください。（プラスチックを劣化させます）
- 切削油などの油が付着した場合には多量の水で洗い流してください。ドレン皿の汚れがひどい場合には中性洗剤を使用し、その後十分に洗剤分を洗い流してください。（プラスチックを劣化させます）

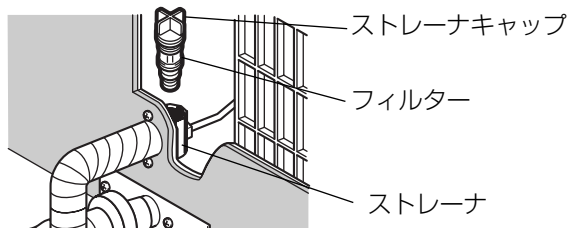
# 保守点検 つづき

## 清掃前の準備



1. サービス弁を閉じる。  
(残留水の飛散防止のため)
2. 水漏れ対策をする。  
●加湿エレメント内の水がこぼれます。天井裏にビニールシートを敷くなど水漏れ対策をしてください。
3. 配管内の残留水を抜く。  
●バケツ等で受けながら排水弁を開く。
4. メンテナスカバー(加湿用)を開ける。  
(1) 外れ防止金具を90°回転させ、固定金具をはずす。  
(2) メンテナスカバー(加湿用)を開く。

## ストレーナ(フィルター)の清掃のしかた

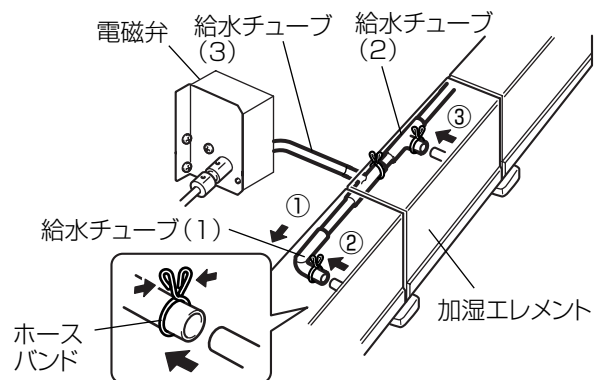


1. ストレーナキャップを反時計回りに回してはまず。  
●ストレーナキャップをはずしにくい場合は、一番手前の加湿エレメントをはずします。下記を参照してください。
2. フィルターに付着した汚れを水で洗い落とす。
3. ストレーナキャップを取付ける。

## 加湿エレメントの取りはずしかたと取付けかた

■機種により取りはずしかた・取付けかたが異なります。

1



加湿エレメントから給水チューブをはずす。

- 給水チューブ(1)と給水チューブ(2)をはずす。  
(LGH-N15~N50タイプはありません)
- 加湿エレメントから給水チューブ(1)、(2)をはずす。

### お願い

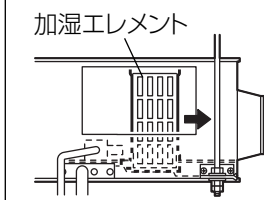
- 給水チューブをはずすときは、ホースバンドをつまんでから、チューブをはずしてください。
- 電磁弁から給水チューブ(3)を取りはずさないでください。
- 給水チューブをはずすときは、本体内部のドレン皿に水が落ちるようにしてください。

2

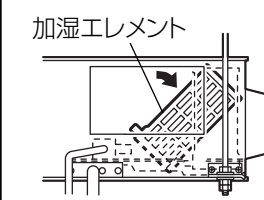
加湿エレメントの1番手前と2番目を取り出す。

形名	個数
LGH-N15タイプ	1
LGH-N25・N35タイプ	2
LGH-N50タイプ	3
LGH-N65・N80タイプ	4
LGH-N100タイプ	5

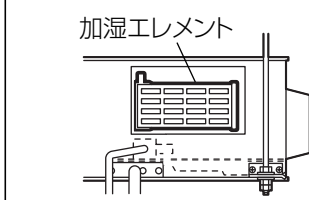
1 加湿エレメントを右方向へずらす。



2 加湿エレメントの上部を右方向へ傾ける。



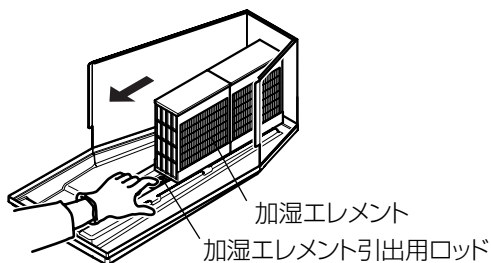
3 加湿エレメントを水平にして、そのまま取り出す。



加湿エレメントの3番目以降を取り出す。

手前から2番目までの加湿エレメントを取り出すと加湿エレメント引出用ロッドが現れます。

### LGH-N65~N100タイプの場合のみ

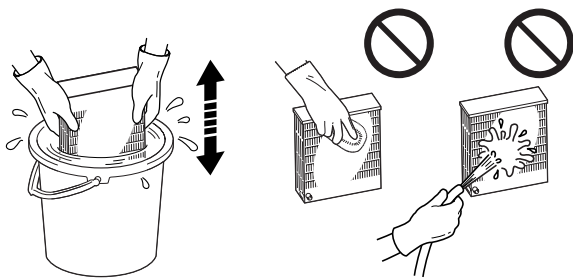


加湿エレメント引出用ロッドに手を掛け、加湿エレメントに手が届く位置まで手前に引き出す。

### お願い

- 加湿エレメント引出用ロッドは製品の外に出さないでください。
- 加湿エレメントと一緒に給水チューブも引き出してください。(加湿エレメント内部に残っている水をドレン皿に出してください)
- 給水チューブは、折り曲げ・引っ張りなどしないでください。

## 加湿エレメントの水洗いのしかた



バケツなどに水を入れ加湿エレメントを4~5回揺らすように上・下させて、ごみ・ほこりを洗い流す。

### お願い

- たわしでこすらないでください。
- 直接ホースで水をかけないでください。  
(加湿エレメントが破損し、水漏れの原因となります)
- 40℃以上の湯や洗剤は使用しないでください。
- 水洗い後はきれいな布で水を拭き取ってください。

## 加湿エレメントの取付け

加湿エレメント引出用ロッド (65~100タイプのみ) に搭載されています) は元の位置に戻してから加湿エレメントを挿入してください。手前にあった加湿エレメントを奥側にしてローテーション設置を行ってください。(25~100タイプ、不純物や混入物質の蓄積を均一化させるため)

取りはずしと逆の順序で取付ける。

1. 給水チューブを確実に接続し、水漏れがないことを確認する。
2. メンテナンスカバー (加湿用) を元通り閉じる。

## 点検後の確認

1. サービス弁を必要に応じて開ける。
  - 夏期は加湿を必要としない場合が多いため、サービス弁を閉じておくことをおすすめします。
2. 冬期 (加湿時期) に、凍結するおそれのある地域では必ず凍結防止用ヒーターの電源が入っているか確認する。
3. 試運転を行い、水漏れがないことを確認する。

# 「故障かな？」と思ったら

次のような現象が生じた場合は下記を参照してお客様自身で処置をしてください。

現象	原因	処置
換気しない	元電源が入っていない	元電源を入れる
	エアフィルター・ロスナイエレメントが目詰まりしている	「お手入れ」に従って清掃する
	外部機器連動運転の場合で外部機器が「切」になっている	外部機器を運転させる
加湿しない	外気が製品の使用範囲を超える湿度になっている	湿度が下がるまで運転を待つ
	リモコン・スイッチの加湿スイッチが「切」になっている	「入」にする
水が出る	給水されていない	サービス弁または元栓を開く
	風量が「微弱」になっている	風量を「微弱」以外にする
水が出る	製品の停止時にドレン排出口より水が出ることがあります。これは異臭 (水の腐敗) 防止のため加湿エレメント内の水が排出され電磁弁を通過してきた水です	異常ではありません
	オンタイマー運転をしている	運転/停止ボタンを押して停止する
	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯	運転を指示したところへ連絡・確認する
	停電自動復帰を設定している	運転/停止ボタンを押して停止する
運転/停止ボタンを押さないのに動きだした	低外気温になると加湿用の水が凍結するのを防止するために運転します	異常ではありません
	加湿運転停止後、64時間運転されなかった場合、10時間自動送風運転し、加湿エレメントを乾燥させます	異常ではありません
運転/停止ボタンを押さないのに停止した (運転しない)	オフタイマー運転をしている	運転/停止ボタンを押して運転を再開する
	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯	停止を指示したところへ連絡・確認する
	外気が低温または高湿時は一時的に運転を停止します	異常ではありません
	遅延設定されている場合は30分後に運転します	異常ではありません

※上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。  
またリモコンに“点検”または何らかの点検ナンバー (エラーナンバー) (4桁) が表示されたときは、その内容をお買上げの販売店にご相談ください。

# アフターサービス

アフターサービスはお買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。別紙チラシが不明な方は下記窓口へお問い合わせください。

## ■ご相談窓口

平日 9:00～19:00

土・日・祝 9:00～17:00

三菱電機冷熱相談センター 電話0037-80-2224（無料）

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

異音がする、風が出ないなど異常があれば必ず電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

## ■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この業務用ロスナイの補修用性能部品を製造打ち切り後9年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 加湿エレメントの交換の目安について

水道水内の不純物や混入物質が加湿エレメント内に堆積するため、加湿能力は徐々に低下します。

- 使用過程において加湿量が少なくなった場合は、加湿エレメントを交換してください。（お客様ご負担）
- 交換の目安は下記の通りとなります。

	硬度25	硬度50	硬度100
交換の目安	7年（7000時間）	4年（4000時間）	3年（3000時間）

- 上記は使用年数（加湿運転時間）です。使用年数、加湿運転時間のどちらかが上記に達する時間を交換の目安としてご検討ください。

〔参考〕1日10時間、年1000時間のご使用を想定しています。

- 不純物の堆積具合は、水質（硬度、シリカ、不純物の種類と量、pH、温度他）や使用条件などに大きく左右されます。また、水質は地域や時期により大きく変動する場合があります。
- 交換の目安は、保証期間を示しているものではありませんので、ご注意ください。

# 仕様

形名	周波数(Hz)	消費電力(W)		定格風量(m <sup>3</sup> /h)	温度交換効率(%)	エンタルピー交換効率(%)		加湿量(kg/h)	騒音値(dB)		質量(kg)
		単相100V	単相200V			暖房時	冷房時		本体直下1.5m	本体吹出口	
LGH-N15Rタイプ	50	97	111	150	72.5	69	66	0.4(0.8)	27.5	36.5	31
	60	120	138						28.5	38.5	
LGH-N25Rタイプ	50	129	135	250	72.5	69	66.5	0.7(1.3)	28	36.5	36
	60	162	169						29	37.5	
LGH-N35Rタイプ	50	161	165	350	74	70.5	68	0.9(1.8)	29	34.5	45
	60	208	207						29.5	36	
LGH-N50Rタイプ	50	213	216	500	72.5	68.5	66	1.2(2.4)	32.5	36.5	49
	60	270	277						32.5	36	
LGH-N65Rタイプ	50	300	315	650	72.5	68.5	66	1.8(3.4)	32	41	67
	60	395	415						33.5	42.5	
LGH-N80Rタイプ	50	370	380	800	72	70	67	2.0(4.2)	33	41.5	80
	60	485	500						34	42.5	
LGH-N100Rタイプ	50	490	500	1000	73.5	70	67.5	2.4(5.0)	35	46.5	105
	60	650	630						36.5	45.5	

※騒音値は無響室で測定した値で、本体吹出口騒音は斜め45°、1.5m前方の値となります。

※表示加湿量は室内温度20℃・相対湿度40%、室外温度0℃・相対湿度50%の場合の加湿器での加湿量です。

（ ）内はロスナイエレメントでの湿度回収分を含んだ値です。

※上記の値はロスナイ換気、強ノッチ時の場合を示します。

※質量は加湿部乾燥時の値です。



中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。